



おさかな瓦版 No. 101

2021.5



ワカメ

かい ぞう
海藻シリーズ

だい 1 かい
第 1 回

ふーちゃんの特ピックス

かい ぞう お ぼ つく
海藻押し葉を作ろう



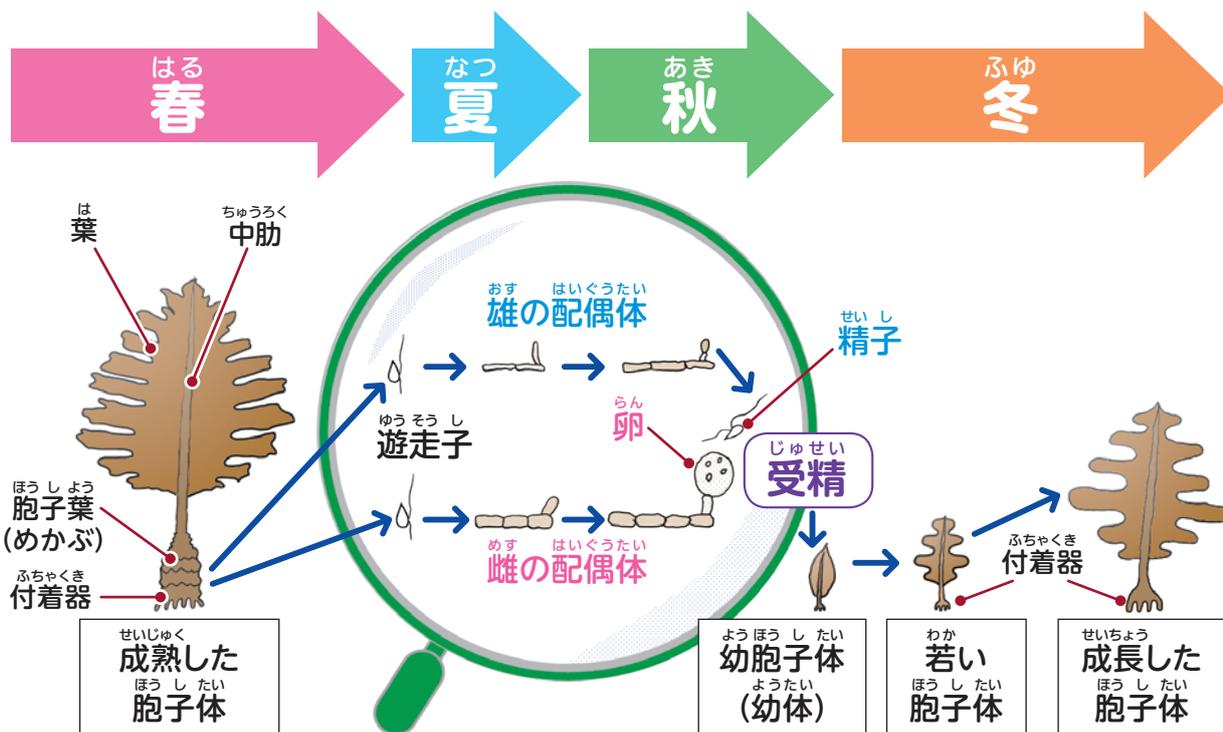
ワカメ ~ワカメの体と生き方のひみつ~

ワカメは、みそ汁やサラダに入っているなど、私たちの食卓になじみのある海藻です(🐟1)。食べる時のワカメは緑色をしていますが、海中で生きている時は茶色や黄土色をしています(🐟2)。このような体の色をした海藻は、褐藻と呼ばれる仲間で、ワカメの他にコンブやヒジキ、モズク、アカモクなどがあります。

ワカメの体は、冬から春にかけて、茎に似た「中肋」と呼ばれる部位を伸ばし(🐟2➡)、細長い葉をたくさん出します。根に似た付着器と呼ばれる部位で岩にしがみついて、強い波や流れによって岩から体が離れないように耐えています。春になると葉と付着器との間に「めかぶ(孢子葉)」と呼ばれる部位を作ります(🐟2➡)。

「めかぶ」からは、目に見えないほど小さな孢子(遊走子)と呼ばれる種のようなものを海中に放出します。遊走子は、泳ぐことができ、岩に付くと雄か雌の配偶体と呼ばれる体に変化して、夏を過ごします(🐟3)。秋になると、雌の配偶体作った卵に雄の配偶体から出た精子が受精します。そこからワカメが芽生え、冬になると大きく成長します(★)。

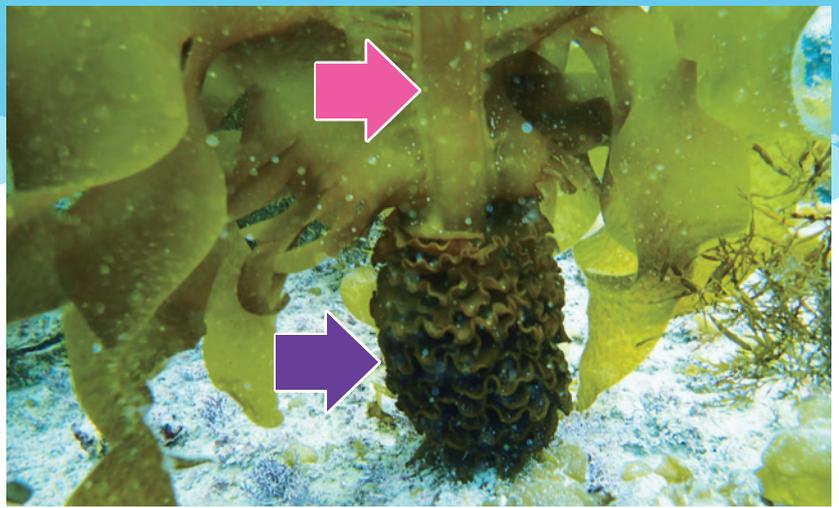
ワカメは九州・四国の南部と北海道の北東部などを除いて日本の各地に分布しています。国内では1年間に約2500トンの天然ワカメが収穫されています。また5万トン前後が主に宮城県、岩手県、徳島県、兵庫県、長崎県などで養殖されています。しかし、それだけでは国内の



★ ワカメの一生



1 うみ なか 海の中のワカメ



2 ワカメの中肋(→)とめかぶ(→)

消費量をまかなえないので、多くを中国や韓国からの輸入にたよっています。

最近では、気候変動の影響で秋になっても海の水温が下がらないことがあるため、養殖を始める時期が遅れて生産量が減ったり、せっかく芽生えたワカメがクロダイやアイゴなどの魚に食べられたりして、養殖ができなくなる問題が起こっています。このような問題を解決するため

に水産研究・教育機構では、ワカメ養殖をしている県と協力して調査と研究を行っています。



村瀬 昇



3 ワカメの雄(♂)と雌(♀)の配偶体



チェック

なぜ、みそ汁の中のワカメは緑色なの？

生ワカメの葉には、緑色に見える葉緑素(クロロフィルa)と赤色に見える色素のフコキサンチンが存在しています。この2つがまざって茶色に見えますが、熱が加わると、熱に弱いフコキサンチンがこわれ、熱に強い葉緑素の色がそのまま残り、ワカメの葉が緑色に変わります。

また、葉がカットされた乾燥ワカメの多くは、製品にする時に湯通しされているので、水につけるだけで緑色の葉が広がります。





うみ いろ かいそう は かに いろいろ
海には色とりどりの「海藻」が生えています。またその形もいろいろです。

いろいろな かいそう をつか お ば っく
さまざまな色と形を持つ「海藻」を使って押し葉を作ってみましょう。

かいそう かんちよう しお いちばん かいがん い
「海藻」をとるには干潮（潮が一番ひいているとき）に海岸に行つて

うちあがっている「海藻」を集めるのが一番簡単です。

かいがん おとな ひと いっしょ い ばしょ かいそう
※海岸へは大人の人と一緒にいきましょう。また、場所によっては海藻をとることに許可が必要なところや、禁止されているところもあります。

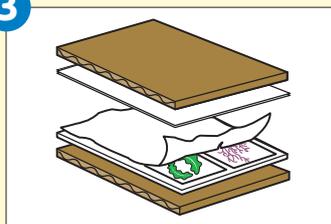
え 絵、しおり、
ポストカード
などを作って
みましょう。



ようい
用意するもの

- 海藻
- 台紙(ケント紙、画用紙)
- バット、洗面器
- ピンセット、竹ぐし
- 布(さらし布、シーツ生地など)
- すいとり紙(ダンボール、新聞紙)
- 扇風機
- ラミネート、とうめいシールなど

3



した じゆん
下から順に、ダンボール(新聞紙)、「海藻」のつた台紙、布、ダンボール(新聞紙)の順番に重ねます。



1



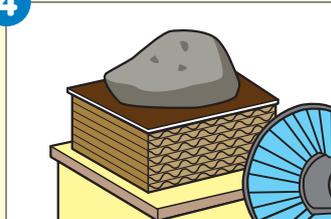
すいどうすい しお め
水道水につけ塩抜きした「海藻」をピンセットや竹ぐしをつかって台紙にのせて、デザインします。



やわらかい「海藻」は水をはったバットの中で形を整えた方がやりやすいよ。



4



さいご いた
最後に板をのせ、その上に重しをのせます。毎日、ダンボール(新聞紙)をこうかんすると3~7日ぐらいで乾きます。

よこ せんぷうき かぜ あ
横から扇風機の風を当てると早く乾燥します。



2



あみ いた なな
網やすのこ板を斜めにして、その上に「海藻」のつた台紙を置き水を切ります。(5分間)

5



かわ だいし
乾いたら台紙ののっている布をていねいにはがします。



ラミネート(パウチ)やとうめいなシールをはると「海藻」がはがれにくく、長持ちするよ。



ふーちゃん と



ふっくん：あんじい仙人のもとで修行している研究員です

おさかな瓦版 NO.101 (2021年5月発行)

編集・発行：国立研究開発法人 水産研究・教育機構

質問の送り先・お問い合わせ先：広報課

〒221-8529 横浜市神奈川区新浦島町一丁目1番地25
テクノウェイブ100 6階

TEL.045-277-0136 (広報課) FAX.045-277-0015

ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のことでわからないことがあったら、広報課までハガキを送ってね。〈聞きたいことの内容〉、〈学年〉、〈住所〉、〈名前〉を忘れずに書いてね。ふっくんが「なんでもコーナー」でお答えします。

ひょうし しゃしん
表紙の写真



ワカメ



水産庁の主唱する魚の国のしあわせプロジェクトに参加しています。

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。